

洋上風力発電等の導入拡大に向けた研究開発事業

令和4年度概算要求額 **69.0億円（82.8億円）**

資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部
新エネルギー課 風力政策室

事業の内容

事業目的・概要

- 洋上風力発電は、世界的にコストの低減と導入拡大が急速に進んでいます。陸上風力発電の導入可能な適地が限定的な我が国において、洋上風力発電の導入拡大は不可欠です。
- 一方、我が国における洋上風力発電の主力電源化を図る上では、諸外国と比べて高い発電コスト、低調な設備利用率、自然条件に関する情報の不足、日本の気象・海象条件に適した洋上特有の技術課題、国内事業者における実績の不足など、様々な課題を解決していくことが必要です。
- さらに再エネ海域利用法の制定により、今後我が国における洋上風力発電の導入拡大が見込まれる中で、関連産業の競争力強化を図り、もって低廉かつ強靱なエネルギー供給体制を構築することが重要です。
- 本事業では、こうした課題を解決するため、以下の技術開発を行います。
 - ① 洋上ウインドファーム開発支援事業
 - ② 洋上風力発電低コスト施工技術開発
 - ③ 次世代浮体式洋上風力発電システム実証研究
- これらの研究開発を実施することにより、我が国の洋上風力発電の更なる導入拡大、低コストかつ安定的な再エネ電気の供給、風力関連産業の競争力強化等 に貢献します。

成果目標

- 平成20年度から令和6年度までの17年間の事業であり、令和6年度までに、本事業を通じて、我が国の気象・海象条件に適した洋上風力発電に関する技術・システム等（9件）を確立し、2030年のエネルギーミックスの実現に貢献します。

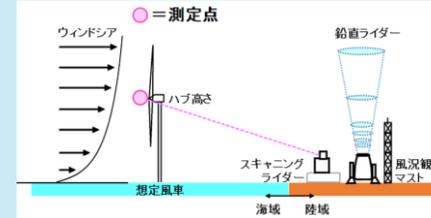
条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

（1）洋上ウインドファーム開発支援事業

- 洋上風力発電事業の実施のために必要な基礎調査等を実施します。
- 令和4年度は、前年度に続き、一般海域における、気象・海象などの情報を効率的に収集する方法を策定するとともに、洋上風力発電設備を設置するために必要な、気象・海象等の基礎的な調査を行い、公開可能な材料として取りまとめます。
※委託



（2）洋上風力発電低コスト施工技術開発



- 我が国の海底地形・地盤に適した洋上風力発電設備の基礎構造、施工技術等の実証を行います。
- 令和4年度は、前年度に実施した試験海域に向けた機器の設計製作等に続き、実海域での実証を行います。
※補助（1/2）

（3）次世代浮体式洋上風力発電システム実証研究

- 令和4年度は、令和3年度事業から継続して、軽量化パッシブヨー制御の要素技術に着目した係留方式等による、先進的な低コスト浮体式洋上風力発電システムの実証を行います。
※委託